

一 般 質 問 通 告 書

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

2019年8月22日
東村山議長 あて

議席番号 13番
質問者 山口 みよ

記

一 誰もが生きやすい社会にするために

あらゆる差別をなくし、人権を守ろうという中に、LGBTなど性的指向、性自認などに関する取り組みはどうなっているか。性に目覚め、体が発達する思春期には特に支援が必要です。

- ① 不安や恐怖を持たずに心安らかにいられる。
- ② ありのままの自分でいいと信じていられる。
- ③ 大事なことを自分で自由に選んで生きられる

こんな環境で子どもたちを育てたい。そんな思いで、今回は教育環境について取り上げます。

1. 小中学校の名簿作成に当たって、男女混合と男女別になっている学校数を、小中学校別でうかがいます。
2. 都内で、男女混合にしている小中学校別に学校数と割合をうかがいます。過去5年間の推移。
3. 男女別の名簿について、教育委部長は中学校で男女別にした理由について、保健体育の授業など男女分かれて実施する活動があるから各学校の判断で行っているが、教育委員会としては望ましい男女参画社会の実現を目指した取り組みを推進するとともに、個々の生徒の実態に配慮しながら対応するよう指導、助言していきたいと答弁しています。具体的にどのような指導、助言をしているのかうかがいます。その効果についてもお伺いします。
4. 1999年の男女共同参画社会基本法成立を機に男女混合名簿は全国的に広がっている中で、あえて男女別の名簿作成を続けている意味はどこにあるのかうかがいます。

5. 制服・標準服について男女をはっきりと分けるのではなく、組み合わせを自由に選び、どちらでも着られるような選択制を取るべきと考えます。制服メーカーでもそのようなデザインを創っているところがあります。先の議会で、多様な選択肢の可能性について検討するよう、学校に伝えていくと答弁していますが、その後、検討や進展している学校はあるのかうかがいます。
6. LGBTなど性的指向・性自認に悩む方は7.6%いるといわれています。ところが、教育委員会として、児童・生徒の中に対象者がいるとは聞いていないという答弁がありました。調査もする考えはないということでしたが、今でもそのように認識しているのかうかがいます。
7. 対象者の調査をするのは配慮が必要で困難なためと答弁されていましたが、知る手立てを、ほかに何か検討したのかうかがいます。
8. 性に対して一番悩む時期は中学生になってからと言われています。誰にも相談できず、知識がないために悩み苦しんでいます。性的マイノリティに配慮した小中学生向けの相談窓口は設置されているのかうかがいます。また、相談カードに性の悩みについての項目はあるのかうかがいます。
9. すべての学校で性の多様性について学習をしているというが、子どもたちの受け止め方、人権意識への理解など、どのように変化したかの検証はどのようにされているのかうかがいます
10. 四中で養護の先生が素晴らしい学習を実践し、子どもたちの感想文も素晴らしかった。あの教訓はどのように生かされているのかうかがいます。
11. 中学生の保健体育の教科書で、「性とどう向き合うか」という中で、「異性への関心が高まったり」と異性愛だけ取り上げています。学校で異性愛のみを教えれば同性に惹かれる子どもたちは辛い思いをします。このような教科書に対して、教育委員会としてどのような対応を考えているのかうかがいます。
12. 教育委員会として、学校の中にポスターをはることで、図書コーナーを作ることなど子どもたちの目に触れることを検討してほしいと考えますがどのように検討されるのかうかがいます。

13. 東京オリパラに向けて国際社会に合わせて一切の差別をなくすと、国も都も推奨しています。一人一人を大切にすると人権を守る東村山になってほしいと考えます。学校教育の中で、LGBTなど性的指向や性自認について悩む子供をどのように受け止め、解決していくのかがいます。

二 体育館の空調整備について

1. 連日 30 度を超える暑さの中、全国では体育の授業や部活動などのさなか、熱中症で救急搬送される子どもたちが相次ぎました。東村山市では小・中学校の運動会や屋外での授業、部活動などで、熱中症などで搬送または保健室で対応した児童・生徒は昨年と今年で、それぞれ何件あったかがいます。
2. 中学校の体育館空調設備の導入に関する調査をし、10 月を目途に調査結果を精査するということですが、空調設備を設置することを前提とした調査と考えてよいのでしょうか。
調査結果によっては中止することもあるのでしょうか。
3. その後、小学校の調査はいつするのかうかがいます。
4. 全小中学校の体育館の空調設備設置計画はどのように考えているかがいます。
5. 都が体育館の空調設備設置事業計画を 2021 年度まで伸ばしました。都や国の補助制度の活用はどのように考えているかがいます。
6. 共産党市議団で全校訪問調査を行ったとき、特別教室にもエアコンがついたけれど、電気料が高くなるからと、一定量以上超えるとブザーが鳴り、エアコンを切らなければならないとおっしゃっていました。子どもたちの安全を守るべきものが、これでは本末転倒ではないでしょうか。
昨年 11 月の参議院総務委員会で共産党の山下議員が空調整備でかかる電気代を増額するよう求めました。総務相は、すでに 1500 校を調査していて、2019 年度から所要額の見込み額を普通交付税に措置すると答弁しました。
電気代の増額が必要と考えますが市長の見解をうかがいます。
7. ランニングコストを考え、外壁塗装なども検討できないかがいます。

8. 近年の猛暑を考え、子どもたちの学習環境を良くしていくことは喫緊の課題です。他市では、補正予算で体育館への空調設置を予算化しているところもあります。一刻も早く設置することが必要ではないでしょうか。検討出来ないかうかがいます。